

# 銚子川を日本一の川に

## 看板や標識の汚れを落とす

紀北町便ノ山の銚子川流域で7日、「銚子川サインクリーンアップ」が行われ、銚子川環境保全会の会員ら14人が看板や交通標識の汚れを取り除いた。

「銚子川を日本一の川に」を合言葉に11年前から毎年行っている活動で、今回は今月12日から行われる「三重紀北シー・タワー・サミット」を前に、同会を組織する銚子川漁協と特定非営利活

動（NPO）法人ふるさと企画舎、町職員が参加した。

午前8時30分に種まき権兵衛の里の駐車場に集合し、魚飛びり橋付近から国道42号の銚子橋まで、2時間ほどかけて看板の拭き掃除や草刈りに取り組んだ。高いところにある看板や標識は脚立を使い、水でぬらしたスポンジや雑巾、ブラシなどでこすって今年1年の汚れを落とす。

保全会の玉津充事務局の人が訪れるので、この銚子川のきれいな風景を楽しんでもらえればよい」と語った。

三重大学3年生で小浦に定住しながらキャンピングin海山で働く末永和さんも参加。「このきれいな川で働けるのが楽しくてすごく充実している。来る人が銚子川の美しさと、看板がきれいになっていくことに気付いてもらえたらすてきだと思っ」と笑顔で話した。



権兵衛の里駐車場の看板を磨く